2015年 8 月
会員増強・新クラブ結成推進月間
No.1188号

広島西南ロータリークラブ会報

平和記念公園早朝清掃（裏表紙に記事掲載）

世界への
プレゼントになろう

2015-2016 RI theme
Be a gift to the world

8/4 第1373回例会

8:15～9:00　メルパルク広島

➢国歌斉唱　われらの生業

➢会長時間

1945年、昭和20年８月６日午前８：15分、私の祖父、木村為之助は仏壇前に座り、おまいりをしておりました。爆心地から1.5kmの距離の木造の自宅は、原子爆弾の閃光と爆風により、瞬時に押しつぶされました。祖父の目の前の大きな仏壇が、祖父の体を、破壊された木造住宅から守ってくれました。

今は、だれから聞いたのかも覚えていない、祖父の命拾いの話です。

あれから70年、明後日が原爆記念日。

戦争の結果、一瞬のうちに、消え去る命、苦しみ続ける命。

私の通った小学校は、中島小学校、平和公園から、川をへだてた、一番近い小学校です。

毎週のように小学校で行われる平和学習、平和公園への慰霊学習。

私には50年前のことです。

どのようにしたら、こんな悲劇はなくなるのでしょうか？

今も、世界中のどこかで、起こる多くの悲劇。

どのようにしたら、なくなるのでしょうか？

“戦争が廊下の奥に立っていた”と詠った戦時中の渡辺白泉。

もうすでに、どんな力でも、だれにも戦争を止めることはできなかった時代だったのだと思います。

先週の会長時間で述べさせていただきましたように、ロータリーの“寛容の心”があふれる、世界の基盤づくりに、いささかでも、“持ってる我々”が寄与できればと、願い、行動しなければと思っております。

本日の会長時間を終わります。

➢幹事報告

同好会半期会費を８月会費で請求。同好会幹事は事務局へ通帳を持参のこと。／本日11：30より創立30周年事業特別委員会を三井ガーデンホテル２Fで開催。／次週８月11日（火）は11：00より第２回理事役員会開催。例会に中村ガバナー補佐来会、13：40よりクラブ協議会開催。

➢スマイルボックス

岩田智博会員　本日は、早朝より暑い中、平和記念公園清掃事業に参加くださりありがとうございます。

準備不足のことも多く、皆様にご不便をかけたと思います。寛容の精神でお許しください。

根石英行会員　８月１日、午前８時33分、市民病院で長女が生まれました。体重2770ｇで、おかげさまで母子ともに順調です。予定日より５日も早く生まれましたが、休日にタイミングよく生まれてきてくれて親孝行な娘になりそうです。娘の健康を祈念して出宝いたします。

➢出席報告

会員数 64名　出　席 44名　欠　席 20名
来　賓　1名

➢プログラム

外部講師卓話

「日本とフランスの違い」

ボルドー大学大学院経営学部
ワインビジネス課在学生
ジュリー・カイヤ　氏

1990	フランスボルドーに生まれる。
2008	クレルモン・フェラン高校を卒業
2009－2014	リヨン大学で日本語を勉強
2014－2015	ボルドーのワイン美術館にてインターンシップとして又アルバイトとして就業 ボルドー大学大学院経営学部ワインビジネス課に在学中
2015年３月初旬から８月下旬まで	株式キムラにインターンシップ生として活動
2015年９月	ボルドー大学大学院卒業見込

日本からフランスまで遠くて、文化は違っていて、互いに似ていません。

それでも、色々なアスペクトではこの国々は近い。なぜですか？

日本とフランスはいい関係にあります。二つの国はそれぞれ古い歴史があります。日本料理、フランス料理、メキシコ料理が無形文化遺産としてユネスコで認定にされています。料理は大切です。多くの面で日本の技術はとても優れています。

フランスではおいしいワインを造ります。日本は日本酒です。日本人にとってフランス人はレイジーでも、フランス人にとっては日本人は働きすぎに写ります。ステレオタイプがいっぱいありますが、何がほんとですか？

この卓話で、次のテーマについて話します。

－　文化　　－　歴史　　－　料理
－　仕事　　－　女性　　－　ギリシャの問題
－　安全保障関連法案

8/11 第1374回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

>奉仕の理想

>四つのテスト唱和

>お誕生記念月記念品贈呈

戸田　泰弘会員　８月１日
佐々木信幸会員　８月９日
池久保光治会員　８月11日
林　　暢也会員　８月12日
宮本　　昇会員　８月14日
田中　茂樹会員　８月14日
村尾　博司会員　８月18日

>会長時間

先週８月４日の平和記念公園早朝清掃例会には45名の会員がご参加くださり、共に充実した汗を流すことができました。お疲れ様でした。広島ホームテレビと、ＴＳＳの２局が我々の活動を報道してくださいました。両局ともに８月４日正午前のニュースにて取り上げていただきました。奉仕プロジェクト委員会の皆さんには、この会の立ち上げから、後始末まで、全般を担っていただき、無事に行事を終えることができました。ありがとうございます。

あの時、ともに流した、さわやかな汗が、平和推進活動の大きなうねりにつながる端緒であると確信しております。多くの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて､本年度も､今日で６回目の例会となります。

本日は、ガバナー補佐の中村哲朗様、ガバナー補佐幹事の斎藤昭一様にご臨席いただいております。例会後８月25日の東良輝ガバナー公式訪問に備えるための、クラブ協議会を開催する予定となっています。どうぞよろしくお願いたします。

また本日の卓話時間では、広島県立美術館、学芸員､山下寿水（やました　ひさな）さんによる、（広島・長崎　被爆70周年　戦争と平和展）芸術家は、いかに戦争と向き合ってきたのか　のご解説を頂戴する予定です｡よろしくお願いたします。

本年度の会長スローガンは

「世界平和に向け、できることを探していこう」としております。

前回までの例会では、“寛容の心あふれる世界の基盤づくり”に､いささかでも､“持ってる我々”が寄与できればという、小結論に私としては、近づいているのかなと思っています。

次回例会は、東良輝ガバナー公式訪問です。

「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」この、ガバナー信条にこたえられるよう、例会、各種事業、各ＧＭにて、実施して行きたいと願い、思っています。

これにて、本日の会長時間を終わります。ご清聴ありがとうございます。

>幹事報告

ロータリーの友誌・ガバナー月信配布の案内。／地区大会本登録の申込みは本日迄。参加者は回覧で確認を。／例会終了後、クラブ協議会開催。／次週８月18日は休会､次回例会は８月25日（火）ガバナー公式訪問例会。

>委員会報告

広報雑誌委員会（友誌を読む）

児玉　栄威　会員

８月は会員増強・拡大月間ということで、会員増強に関する特集が組まれていました。

10ページにありますが、日本の会員数は、本年６月末現在、87,380人で、世界第３位の会員規模となっています。ピーク時の1996年11月末には130,982人でしたので、それに比べると大きく減ってはいますが、2014－15年度は会員数が増加したようです。景気の影響もあるのだと思いますが、より多くの方がロータリークラブに入会され、より活発なロータリー活動ができるようになることを期待します。

また、９ページに世界各国のロータリークラブにおける女性会員の割合が載っています。

これを見ると世界平均で約20％が女性会員であるのに対して日本の平均は5.34％となっており、これは世界でも最も低い数字となっていました。西南ロータリークラブでもほぼ同じくらいの割合ですから､実に日本的なクラブだなと思いました。

最近仕事をしていて思いますが、どの業種でも近年は女性の活躍が目覚ましく、日本の社会でも女性がどんどん活躍してきていますから、今後は

日本のロータリークラブ、そして西南ロータリークラブにおいてもどんどん女性が活躍することになりそうです。

楽しみであり、恐ろしくもありますね。

また、他のクラブの活動記録やロータリーデーなど、たくさんいい記事がありましたが、印象に残ったものを二つ挙げさせていただきます。

一つ目は中村ロータリークラブの四万十川の清流を守るための植樹の記事です。見るからに急な斜面で林道を整備し、ヤマザクラを植えるという活動ですが、地元の小学生を招き若手の会員さんを中心に頑張ったそうです。たまたま当クラブに知り合いがいますので聞いてみたところ、大変な事業ではあるけれども、達成感が素晴らしく、今後も続けていきたいとのことでした。奉仕の精神が素晴らしいなと思いました。

二つ目は、鳥羽ロータリークラブの加藤竜太郎さんという方が100歳を迎えられたという記事です。この方は太平洋戦争でも兵役につかれ、復員後、鳥羽ロータリークラブの創設に尽力され、今でも矍鑠とされておられるそうです。私もあと60年はしっかり頑張らないといけないなと思いました。

今回の友誌を読んで、今後は人口が減りますが、女性と高齢者が元気な日本はまだまだ大丈夫だと思いました。

▶スマイルボックス

吉田栄壮会員　広島マツダスタジアムで、８月15日、カープ対DeNA戦を我社のホテル事業部、広島インテリジェントホテルズのスポンサーゲームとして開催します。是非、カープに勝って頂き、MVPをカープに選手に渡せるよう願って出宝します。

徳納武使会員　札幌から那覇まで、全国13カ所で講演会をしまして、例会に出席できませんでした。盆明けからまじめにRotary活動をします。

戸田泰弘会員、長谷川大助会員　７月28日に新入会員歓迎会にお招き頂きありがとうございました。また、記念品まで頂き、感謝いたします。

社会奉仕委員会　田中朋博会員、長谷川大助会員、三宅陽一郎会員、山本豊会員　８月４日の早朝清掃では、真夏の暑い中、また朝早くからたくさんお集まりいただきましてありがとうございました。初めての試みでいろいろと不手際なこともあったと思いますが、これからの事業もよろしくお願いいたします。

長谷川大助会員　昨日、琵琶湖にて60.5cm、４kgのブラックバスが釣れました。うれしさのあまり、ロータリーバッチを忘れてしまいました。

▶出席報告

会員数 64名　出　席 52名　欠　席 12名
来　賓　3名

▶プログラム

外部講師卓話

「芸術家はいかに戦争と向き合ってきたのか―戦争と平和展から見る『平和』の表象」

広島県立美術館学芸員
山下　寿水　氏

原爆投下から70年の年月が経過し、被爆者の高齢化が進む中、いかに被爆体験を将来へ継承すべきか広島・長崎では懸念されています。こうした現況を踏まえ、広島・長崎の両県立美術館が初めて協働し、展覧会「広島・長崎 被爆70周年　戦争と平和展」を開催致しました。本展では、ナポレオン戦争を始点として、20世紀の２つの世界大戦を取り上げ、作品として世に残されてきた「戦争の表象」を辿ることで、過去の悲劇を繰り返さないよう歴史を継承し、戦争と対極にある「平和」の重要さを改めて感じていただければと考えています。

卓話ではそうしたテーマを補足するかたちで、スライドを交えながら、出品作品が制作された背景を紹介致しました。ナポレオン時代の御用画家たちが、彼の権威と戦争の勝利を称える歴史画・戦争画や肖像画をしばしば制作したこと。そうした戦意高揚のための絵画が、国家総動員体制下の日本においても「彩管報国」（彩管＝絵筆を執って国に報いる）の題目のもと、多くの作品が描かれたこと。その反面、フランシスコ・デ・ゴヤやパブロ・ピカソ、阿部合成、須田国太郎、丸木位里・俊、石内都ら多くの芸術家によって、各々の立ち位置から「戦争」や「原爆」の不条理さ、悲惨さが作品によって示されてきたこと。

過去に起きた惨劇は、芸術作品によって表現し尽くせるものではないかもしれません。しかし、ときに芸術家たちが苦悩しながら描き出した戦争

DONATION

	８ 月	年度累計
スマイル	111,000円	266,000円
善意の箱	8,450円	24,272円
100万ドル	0円	50,232円

の記憶は、観る者の胸を打ち、平和の尊さをこれからも照らし続けるのではないかと思います。

8/25 第1375回例会
12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

>ROTARY

>ご結婚記念月記念品贈呈

長谷川大助会員　８月17日

>連続出席100%

先小山英夫会員（12年）
佐藤　二郎会員（10年）
佐藤　克則会員（９年）
仲田　淳嗣会員（８年）
俵　　雅之会員（８年）
濵田　公璽会員（２年）
児玉　栄威会員（２年）
田村　英樹会員（２年）
幸村　憲治会員（２年）

>お子さんお誕生日お祝い（根石　英行会員）

>会長時間

本日は東良輝ガバナー公式訪問の日でありました。残念ながら、台風15号来襲のため、期日延期となりました。広島西南ロータリークラブの現状を見ていただき、我々の持っている疑問にお答えいただき、楽しく豊かなロータリーライフの糧としていくことができると楽しみにしておりましたが、乞うご期待といたしましょう。

８月は日本にとって、特に広島に住む者にとって､特に感慨深い月です。８月６日の原爆記念日、そして８月15日の終戦。70年前のことです。

本日は、戦争がなくならないのはなぜか？というテーマで、会長時間とさせていただきます。ここに、かつてインターシティーミーティングで講演していただきました池上彰さんが出版したばかりの本があります。

「世界から戦争がなくならない本当の理由」というタイトルの本です。この著書には歴史から教訓を読み取ることが大切だとしてあります。

引用してみます。

“70年前に終わった戦争は、あまりにも多くの人命を奪い、社会を激しく破壊しました。

あの悲惨な出来事を繰り返したいと思う人は、この世界に一人もいないでしょう。

そこで必要なのは、しっかりと過去から学び、反省して、現在と未来に活かせる教訓を引き出すことです。戦争の教訓を活かすには、歴史に学ぶしかありません。本書では戦後70年間の日本と世界をふりかえることで、そのヒントを提示してみたいと思います。”

平易な文体で、私にも分かりやすく、明快なロジックで書かれています。まだ、お読みでない方は、是非お読み頂ければと思います。

また､ギリシャの歴史学者トゥキディデスの「戦史」という本があります。トゥキディデスは紀元前460頃～紀元前395年の間に生きた人です。「戦史」はペロポネソス戦争の歴史記録本です。

その本の中に、人間とその集団の行動の源泉についての記載があります。「名誉心」「恐怖心」「利得心」に、行動の源泉があるとしています。

また、同じ歴史学者の入江昭ハーバード大学名誉教授は、グローバル化した現代において、国家中心の世界観はもはや時代遅れだと朝日新聞2014年６月19日のオピニオンに､「力の論理を超えて」のタイトルの中に述べておられます。

入江先生は、重要な視点は「シェア」と「つながり」だと言っておられます。また人も物も『雑種化』していくことに、これからの世界に希望がある。と述べられています。これらの視点に共通して出てくることは、ロータリーで言う“寛容の心”ではないでしょうか？ロータリーの果たす役割は大変大きいと思います。

本日の会長時間を終わります。

>幹事報告

クラブ月報・ガバナー指定公式訪問資料配布の案内。／９月９日（水）創立29周年記念例会の回答は本日迄。未回答者は回覧で回答を。／経済レポート８/18号掲載の早朝清掃記事、米山梅吉記念館からの館報を受付で掲示。／同好会半期会費の支払いで広島銀行以外の通帳を持つ同好会は早

めに事務局へ持参のこと。／例会変更。

➢スマイルボックス

三好清隆会員　西南RCの作詞作曲を全国月刊誌「ミュージックスター 2015.10月号」に投稿したら優秀賞を貰いました。今後とも活用をして頂けたら幸甚です。

※記事抜粋　ミュージックスター講師
「松井タツオ」先生のコメント

今回はなんと三好清隆さんからロータリークラブの歌、「広島西南ロータリー」という楽曲が届きました。もう皆さん、実際に覚えて歌われているのでしょうね、いい曲です！私も、校歌や社歌、応援歌などのアレンジのお仕事をさせて頂いておりますので、この曲のような吹奏楽風な編曲に魅力を感じます。トロンボーンやユーフォニュームのカウンターメロディーや、木管の細かい動きなども見事にアレンジされていました。

根石英行会員　出産祝いのお礼

本日は、出産祝いを頂きましてありがとうございます。８月１日に生まれまして、名前はニンベンに有るの侑の字に佳子様の佳の字で侑佳と名付けました。思いやりのあって幸せな子に育ってほしい、という願いを込めました。女の子で、私に似ている面影が少し不安ですが、皆様から祝福を受けた子供ですので、しっかり育てていこうと思います。よろしくお願い致します。

根石英行会員　本日BOXに当事務所と佐藤克則会員の社会保険労務士法人サトーとの秋の合同勉強会のご案内を配布させて頂きました。今回のテーマは「企業法務とは」と題し、企業法務による企業経営上のリスク軽減についてお話します。８/28午後３時からで、終わってから懇親会も予定しています。日がありませんが、興味のある方はご参加ください。

山本春男会員　今年度の会員記念日でご結婚記念日のお祝いに、当社の商品（珪藻土バスマット）を購入して頂きました。感謝いたします。

折本緑会員　ニコニコボックスへのご出宝、たくさんいただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

➢出席報告

会員数 64名　出　席 54名　欠　席 10名

➢プログラム

公式訪問フォーラム発表と質問事項について

奉仕事業に関する質問

（質問者　田中朋博　社会奉仕委員長）

１．当クラブは３年連続で地区補助金事業を実施させていただく予定になっておりますが、地区補助金が単年度事業しか認められていないのはなぜでしょうか。一つのプロジェクトが複数年度に渡る場合、継続性も考慮されるべきではないかと考えます。

※　当クラブで地区補助金事業として行った東北紙芝居プロジェクトは、３年間で100本の紙芝居を作成するという事業の２年目を当クラブの事業として行ったものでした。

２．地区補助金の申請時期が３月となっていますが、変更はできないのでしょうか。７月からの次年度の事業計画も担当理事も未定の段階なのに、ある程度事業の内容を詰めて申請せざるを得ないのは困難な場面もあると思います。

３．他クラブでの補助金事業への取り組みについての好事例や、補助金事業を継続している事例などがあればお教え下さい。

４．地区補助金の申請においては、相見積もりが要求され、ロータリアンによるサービス提供も制約されるなど硬直的な取り扱いとなっているように思われます。手続きの点を含めて、申請や報告方法が簡素化された方が、多数のクラブが補助金を活用するようになるのではないかと考えますが、地区における手続きの見直しはできないのでしょうか。

※　当クラブでは昨年、心臓病の子供たちや家族のための野外活動を、地区補助金をいただいて実施しました。その際、地区補助金の申請では、物品やサービスの購入について相見積もりを要求されたり、ロータリアンからのサービス提供についても制約があったりするなどの規制が多く、申請の準備にも手間取りました。また実施報告についても、提供した物品の写真を要求されるなど事務手続きも煩雑でした。地区補助金は貴重な奉仕活動の資金ですが、正直いただける資金の規模に対して、いっそのことならクラブ独自の予算でやった方が簡単に柔軟に事業実施できるのではないか、と思われました。このような形になる前の地区補助金の申請にもかかわったことがありましたが、そのときの方がはるかに容易でした。日本以外の地域では、ロータリアンが自らの利益になるように補助金を使うとか、補助金が本当に奉仕活動のために使われているのかわからないというか、不正を防ぐために性悪説に立った運用が必要かもしれませんが、まだ日本国内の場合では、性善説に立っ

た運用が可能ではないかと考えます。かえって煩雑な手続きは、地区補助金の利用を躊躇させるものになってしまうのではないかと危惧します。ＲＩの世界的に一律な処理方針というものがあるのかもしれませんが、地区として柔軟な運用ができないか、手続きをできる限り簡素化できないか、ご検討いただければと思います。

５．2015－2016年度、東ガバナーが挙げられている、「新世代奉仕」について、他クラブで今年度実施予定の奉仕事業で特に「新世代奉仕」の方針に基づいて実施されるものがあれば、どのようなものなのかお教え下さい。

会員増強に関する質問

（質問者　宮﨑　真　会員増強委員長）

１．会員増強へ成果を上げているクラブの事例をお願いします。（複数年にわたって会員を獲得しているクラブはありますか？また、その取り組みはどんなことをしているのでしょうか？）

２．会員の退会抑制へ成果を上げているクラブの事例をお願いします。（自然減を除き退会者を出していないクラブはありますか？　またその取り組みはどんなことをしているのでしょうか？）

広報に関する質問

（質問者　杉本清英　広報雑誌委員長）

１．今は大きな問題になっていませんが、ホームページを更新する場合における、情報の管理方法に苦慮しています。現状は､担当の会員がホームページをそれぞれ更新しており、統一した管理等はなされておりません。もし、投稿した内容に問題があった場合の対処方法も決まっていません。他のクラブにおける方法等も含めて、どのような管理が望ましいのかお教えください。

２．他クラブでのクラブ広報の状況をお教え下さい。

３．最近では、RIは広報を重要視し、ロータリークラブについての効果的な広報をするよう求めてきています。ロータリークラブの存在を認知してもらい、その活動について社会一般から一定の評価を受け、ロータリーの活動を増進するためには、当然ながら広報活動は必要不可欠なものであるとも思われます。しかし、各クラブによっては、ロータリーの特徴である職業奉仕の理念を重視する反面、広報活動については消極に解し、いわゆる陰徳の精神をもって尊しとするという側面を有するところもあるようです。

ロータリークラブの特色である職業奉仕とは、社会の中における各々の職業のあり方を、その職に就く者が奉仕を基礎として自ら定義し、その定義を前提として自らの職業上の行為を律しようとする、一つの職業理念あるいは哲学を指すと共に、時にはこれを基に行われる職業上の行為そのものも職業奉仕の範疇に含まれるものと考えられますが、職業奉仕が会員個々の職業に関する理念・哲学や行為であるが故に、いわゆる一般的なクラブの広報には馴染み難い性質のものではないかとも感じられます。それ故に、いきおい各クラブの広報の主たる素材は、クラブ奉仕という団体単位で行った奉仕活動の成果が多くなり、結果的に他の奉仕団体との違いは見出し難く、広報成果は弱く、また職業奉仕を重視する立場のからは自らが考えているロータリーのあり方との距離が感じられるものとなり、広報活動を消極に解される原因となっているとも考えられます。

ロータリークラブの存在を知り、ロータリーの活動を効果的に認知してもらい、ロータリーに対する好感度を向上させ、ロータリーに対して親近感を持ってもらう、その上で各クラブの広報が効果的になされるということが、会員勧誘の側面においても重要な役割を果たすものとも考えられます。そして、このような広報効果を得るためには、やはり会員個人やクラブ単体による広報活動のみでは十分ではなく、地区やグループという大きな単位から各クラブという小さな単位までを連携させ、例えばSNSも組み合わせるような全体的な広報戦略の策定と実行が必要なのではないかと考えられますが、地区単位でのこのような取り組みは考えておられないのでしょうか。

ガバナーは会員に「ロータリーの基本に帰ろう」と呼びかけられており､伝統的なロータリークラブのあり方を提唱しておられ、広報については積極的ではないようにも見受けられますが、ガバナー自身は広報についてはどのようにお考えでしょうか。また、各クラブ単位においてはどのような姿勢で広報に取り組むべきとお考えでしょうか。

2015-2016年度　第１回理事・役員会　議事録

日　時：2015年８月11日　11時00分～ 12時15分
場　所：ＡＮＡクラウンプラザホテル４Ｆ会議室

１．出席者の確認
出席者：木村・杉川・末廣・橋本・岩田・
平原・山下（幸）・梶本・佐古・桒田

２．会長挨拶
今月はガバナー公式訪問がありタイトであるがよろしくお願いします。

３．議事
① 合同幹事会報告（報告）
佐古会員より資料のとおり報告あり。
② ８／23地区指導者育成セミナーについて（確認）
会長、徳納理事、仲田理事が出席予定
③ RIJYEC維持協力金のお願い
上半期分100円を承認。
④ ガバナー公式訪問について
８／25予定。本日クラブ協議会にて奉仕、会員増強、広報が10分程度のプレゼン、本日ガバナー補佐との協議予定。
⑤ ９月度プログラム及び９／９創立29周年記念例会について（協議）
例会卓話は資料のとおり。
創立29周年記念例会も資料のとおりで承認。
元会員約６名・元米山奨学生約５名への案内は事務局へ依頼済み。
⑥ ９／15予定水保全プロジェクトについて（確認）
本川小学校。予備日は９／16。タイムスケジュールは調整中。
会長、岩田理事ら出席予定。
⑦ ７月度会計報告
梶本理事より報告。
⑧ 各理事役員報告
クラブ管理：プログラム、29周年記念例会は先のとおり。
クラブ広報：データの管理方法を検討中。
奉仕プロジェクト：早朝例会も無事終了した。ミニミニ外国、職場訪問例会もある。
Ｓ.A.A：例会運営について忌憚ない意見をいただきたい。100万ドルは月１回。
会員増強：本年度は毎月GMをやる。候補者リストを整理中。取り組みを検討中。
⑨ その他
杉川会員より以下報告
特別事業基金の使い道については、9月か10月の理事会へ事業計画案を提出するので、検討してほしい。今年の理事会より事業計画案を諮問委員会（10月末予定）に諮問する。
組織図案は特に異議なし。記念事業の案について、廿日市RCは駅前に時計を寄付したらしい。
広島市の秘書課へ聞いたところ、ベンチ（ネーム入れ）１個40万円。

４．次回開催日の予定
９月１日（火）13：45 ～ 15：00

５．閉会の挨拶　杉川副会長
ガバナー訪問のときに西南はよくやっていると言っていただけるよう宜しくお願いします。

掲　示　板

９月行事予定
❀９月１日（火）13：45 ～
第３回理事役員会　ANAホテル4F
❀９月15日（火）９：00 ～
本川小学校「水環境に関する学習」支援
雨天順延、環境護岸で開催
❀９月17日（木）18：30 ～
職業奉仕委員会GM　ホテルJALシティ広島

10月行事予定
❀10月18日（日）
津田子供の家の子供達との地区補助金事業
in マリーナホップ
❀10月25日（日）９：30 ～
地区大会（宇部）
❀10月27日（火）
職場訪問例会　大師寺（海田町）

８月の会員記念日

会員誕生日

戸田　泰弘	１日
佐々木信幸	９日
池久保光治	11日
林　暢也	12日
宮本　昇	14日
田中　茂樹	14日
村尾　博司	18日

入　会　月

池久保光治	H17年
遠崎　秀一	H18年

結婚記念日

長谷川大助	17日

パートナー誕生日

伊藤英彦夫人	亜紀様	７日
吉田栄壮夫人	まゆみ様	９日
田中茂樹夫人	岳子様	13日
平原一彦夫人	緑　様	15日
佐古雄司夫人	真弓様	16日
宮﨑　真夫人	敬子様	21日
末廣浩一郎夫人	香織様	22日
奥田　實夫人	紘子様	29日

創　業　月

藤崎健次郎	日本建設㈱広島支店	S30年
岩田　智博	㈱中国道路施設	H11年
三好　清隆	㈱ミヨシ	S25年
折本　緑	ゆめみらい㈱	S49年
佐古　雄司	キョーリツコーポレーション㈱	S25年
山本　恭瑚	ステュディオ グリオット㈲	H14年

広島西南RC　7月度個人別出席状況一覧表

（メークアップ期間の都合上１ヶ月前を掲載しております）

	氏　名	7	14	21	28	出席率
1	荒木　攻	○	○	○	○	100%
2	萬歳　幸治	○	△	○	○	100%
3	藤崎健次郎	○	○	○	○	100%
4	平原　一彦	○	○	○	△	100%
5	林本　正継	○	△	○	△	100%
6	平石　雅史	○	○	○	△	100%
7	橋本　幸範	○	○	○	○	100%
8	林　暢也	○	△	○	○	100%
9	濵田　公璽	○	○	△	○	100%
10	石井　和彦	○	○	○	○	100%
11	池久保光治	○	○	○	△	100%
12	岩田　智博	○	○	○	○	100%
13	伊藤　英彦	○	○	△	○	100%
14	梶本　尚揮	○	○	△	○	100%
15	木村　恭之	○	○	○	○	100%
16	栗田　博正	○	○	○	○	100%
17	児玉　栄威	○	○	○	○	100%
18	幸村　憲治	○	○	○	△	100%
19	三好　清隆	○	○	△	○	100%
20	村尾　博司	○	○	○	△	100%
21	宮本　昇	○	△	○	○	100%
22	室﨑　雅宣	○	○	○	○	100%
23	宮﨑　真	○	○	○	△	100%
24	三宅陽一郎	○	○	○	○	100%
25	水谷　耕平	○	△	○	○	100%
26	根石　英行	○	○	○	△	100%
27	仲田　淳嗣	○	○	○	○	100%
28	岡本　文治	○	○	○	○	100%
29	奥田　實	○	○	△	○	100%
30	小川　光博	○	△	○	○	100%
31	岡本　俊雄	△	△	○	○	100%
32	折本　緑	○	○	○	○	100%

	氏　名	7	14	21	28	出席率
33	佐々木　宏	○	○	○	△	100%
34	白築　忠治	○	○	○	○	100%
35	曽里　裕	○	○	○	○	100%
36	杉川　聡	○	○	○	○	100%
37	先小山英夫	○	○	○	○	100%
38	佐藤　二郎	○	○	○	△	100%
39	佐藤　克則	○	△	○	△	100%
40	杉本　清英	○	○	○	△	100%
41	末廣浩一郎	○	○	○	○	100%
42	佐々木信幸	○	○	○	○	100%
43	佐古　雄司	○	○	○	○	100%
44	新藤幸次郎	△	○	○	○	100%
45	田中　茂樹	○	△	△	○	100%
46	谷口　公啓	○	○	△	△	100%
47	遠崎　秀一	△	△	○	○	100%
48	寺本　真司	○	○	○	△	100%
49	俵　雅之	○	△	○	○	100%
50	徳納　武使	△	○	△	△	100%
51	對馬　久子	○	△	○	△	100%
52	田村　英樹	○	△	○	○	100%
53	田中　朋博	○	○	○	○	100%
54	田中　和之	○	○	○	○	100%
55	上田　直治	○	○	○	○	100%
56	山本　豊	○	○	○	○	100%
57	山下　哲夫	△	○	○	○	100%
58	吉田　栄壮	○	○	○	○	100%
59	山下　幸彦	○	○	○	○	100%
60	山本　春男	○	○	○	○	100%
61	山本　恭瑚	○	△	○	△	100%
62	山國　豊	○	○	○	○	100%
63	戸田　泰弘	○	○	○	△	100%
64	長谷川大助	○	○	○	○	100%

名…名誉会員　■…出席免除会員　○…ホームクラブ出席　△…メークアップ　×…欠席

編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は少しずつ秋の気配を感じる季節になってきました。本号では皆で気持ちの良い汗をかき、平和への思いを新たにした、平和公園早朝清掃とガバナー公式訪問を二本柱に充実した月報をお届けする予定でしたが、台風15号の影響でガバナー公式訪問が延期となり、不可抗力とはいえ誠に残念でした。

しかしながら「果報は寝て待て」ではないですが、ガバナー公式訪問の楽しみが残った訳で、公式訪問時には詳細な報告をお届けしたいと思います。

（佐藤（二））

2015年９月15日

発　行　広島西南ロータリークラブ
会長　木村恭之　幹事　末廣浩一郎
事務所　広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル13F
TEL 082-221-4894　FAX 082-221-4870

編　集　会報資料委員会

被爆 70 年を迎える原爆記念日を前に、広島平和記念公園で早朝清掃を実施　2015.8.4

平成27年８月４日（火）、広島市中区の広島平和記念公園にて午前７時から広島西南ロータリークラブの会員45名（会員数64名）が参加し早朝清掃活動を行いました。２日後の８月６日、広島は被爆70年を迎えます。世界平和を掲げる上で、広島平和記念公園は大切な情報発信の場でもあります。その公園内の記念碑や周辺清掃こそ、広島にあるロータリークラブだからこそできる奉仕事業のひとつであり、2015－16年度、当クラブ・木村恭之会長の「世界平和に向け、何かできることを探していこう！」という方針に基づいた活動でもあると考え、70年を迎える今年初めて実施しました。

当日は朝７時に集合。早朝でありながら26.5度という真夏日のなか、原爆ドーム前を中心に記念碑周辺を４エリア・４チームで担当し、熊手やほうきを使ってゴミや落ち葉などを拾っていきました。そのほか、原爆の子の像や慰霊碑をブラシで汚れを落としたり、周辺の雑草を抜いたりと参加者全員が汗を流しました。参加したメンバーは、「広島に来られて、原爆ドームや平和公園を回る人たちに少しでも気持ちのいい環境をつくり、壬婚の時を過ごしてもらえれば」「70年の歴史を無駄にせず、もっと世界平和に向けてみんなでもっと考えていきたい」など、とても有意義な時間を共有できました。また、当日はテレビのニュース報道（フジテレビ系列、テレビ朝日系列の２局）や雑誌社の取材もあり、当クラブの活動を一般の市民の方々に知っていただく貴重な場ともなりました。